

**論点等説明シート**

事業名 【執行府省】	福島イノベーション・コースト構想推進施設整備等補助金(地域復興実用化開発等促進事業) 【経済産業省】						
事業開始年度	平成28年度						
終了(予定)年度	平成33年度 (令和3年度)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度 (令和元年度)	32年度要求 (令和2年度要求)	
	予算の 状況	当初予算	6,970	6,970	6,970	5,702	
		補正予算	▲ 3,000	▲ 2,428	▲ 1,251	-	
		前年度繰越(+)	-	-	-	-	
		翌年度繰越(-)	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	
		計	3,970	4,542	5,719	5,702	0
	執行額	2,353	3,665	4,228			
	執行率(%)	59%	81%	74%			
	当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	59%	81%	74%			

**事業の概要**

福島県浜通り地域において、国内外の研究者、技術者、企業等の英知を集結するためにも、共同で研究を行い、イノベーションを創出する環境を整備していく必要がある。また、廃炉や被災地域の復興を円滑に進めていくためには、福島県浜通り地域等の産業復興を支える新技術や新産業創出の原動力となるロボット技術、エネルギー、農業分野等の多岐にわたる先進分野の課題解決に向けた技術開発等が求められる。そのため、福島県浜通り地域等において、福島イノベーション・コースト構想の重点分野(※)について、地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進し、福島県浜通り地域の早期の産業復興を実現すべく、福島県浜通り地域等において地元企業または地元企業と連携する企業が実施する実用化開発等の費用を支援する。

※廃炉、ロボット、エネルギー、環境・リサイクル、農林水産業等の分野

[補助率]  
経済産業省 → 福島県 定額(10/10) → 民間企業等(2/3、1/2)

**論点等**

- 具体的な選定理由
  - ・本事業で掲げる目標(2020年度までの事業化100件)の達成が見込まれないことから、H31予算案において、新規受付期限の延長(H30→H31)を措置。
  - 他方、自治体からの継続要望が強いことから、事業の進捗状況を確認し、復興創生期間後の事業の在り方を検討する必要がある。
- 論点
  - ・これまでの事業により、どの程度事業化が達成されているのか。
  - ・今後のアウトカム達成に向けて、どのような道筋を検討しているか。事業の効率性について検討しているか。
  - ・復興創生期間後の在り方等について検討しているか。